

# さかえ 第3号

＜編集・発行年月日＞  
平成 23 年 5 月 20 日  
栄区役所福祉保健課  
栄区社会福祉協議会

## つながる 通信

### ＜栄区 緊急時医療情報キット＞ 対象者を拡大します！

栄区では、平成 23 年 2 月 15 日から「栄区緊急時医療情報キット（以下キット）」を窓口で希望する対象者にお渡していますが、平成 23 年 6 月 1 日から対象者の拡大を行います。

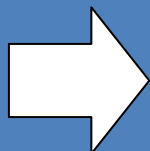


#### 【拡大する対象者】

区内在住 65 歳以上高齢者や障害者等の対象者の居る世帯に拡大します。

#### これまでの対象者

区内在住で高齢者（65 歳以上）・障害者（身体障害者手帳 1・2 級・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳を持つ人）のうち、一人暮らしの方。



#### 対象者拡大後

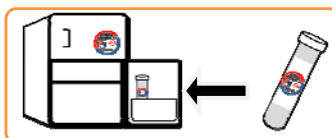
区内在住の高齢者（65 歳以上）・障害者（身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳を持つ人）等の居る世帯。  
※外国人や、認知症の方など、緊急時に情報伝達が困難で、キットが必要な方の居る世帯へもお渡しします。

#### 【参考】緊急時医療情報キットとは

あらかじめ、かかりつけ医や服薬内容などの医療情報を記入し、冷蔵庫に保管しておくことで、緊急時に迅速な対応を受けやすくするためのキットです。

#### ＜お渡しするキットの内容＞

容器、情報シート、情報シート記入見本、表示シール（玄関のドア用、冷蔵庫用）



↑キットは常時、冷蔵庫に保管します。



←キットが冷蔵庫に入っていることを知らせるため、表示シールを玄関ドアの内側と冷蔵庫の扉に貼り付けます。

- お近くの栄区内地域ケアプラザ（地域包括支援センター）、栄区役所福祉保健課（新館 3 階）でお渡ししています。

【栄区医療情報キットに関する問い合わせ先】

栄区福祉保健課事業企画担当 894-6962

# つながる・プラン

区民のみなさんの身近な地域における福祉・保健に関する意識・行動の変化やニーズを把握し、区や区社会福祉協議会の事業、地域での取組などの推進に活用するために、区民アンケートを実施しました。

3月11日に発生した東日本大震災の影響で、栄区でも計画停電等が起きたなか、多くの方にご協力をいただきました。今回、調査結果報告書としてまとめましたので、ほんの一部ですが、ご紹介させていただきます。

【調査対象】 栄区に居住する20歳以上の方2,000人  
 【調査期間】 平成23年3月1日～3月25日  
 【有効回収数】 911人（45.6%）

ご協力ありがとうございました！

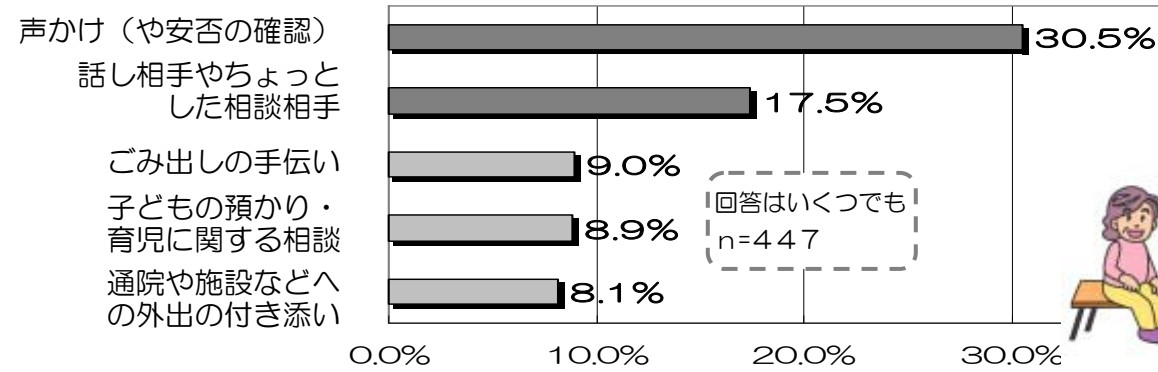


詳細を記載した『第2期 栄区地域福祉保健計画～さかえ・つながるプラン～推進のための区民アンケート 調査結果報告書』は、ホームページでご覧になれるほか、栄区役所新館3階福祉保健課（304窓口）でも閲覧いただけます。  
 ホームページ：<http://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/guide/fukushi/2chifuku.html>

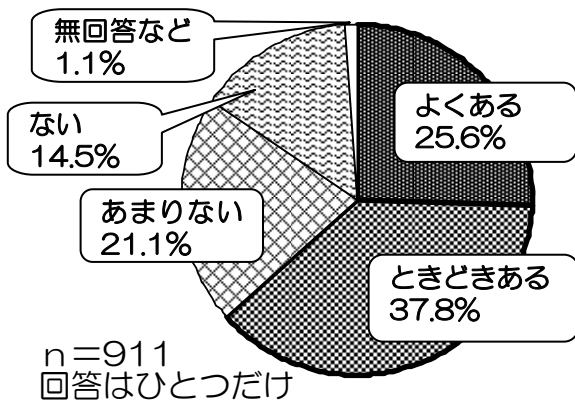
## まずは、ご近所どうしの声かけから！

隣近所の関係が希薄になったといわれますが、いざというときに頼りになるのは、身近な近所の方なのかもしれません。アンケートでも、ご近所で助けてもらいたいこととして、声かけや話し相手などコミュニケーションに関する回答が上位を占めました。隣近所のつながりを深めるためにまずはあいさつから、はじめてみませんか！

### ご近所で助けてもらいたいこと（上位5位）



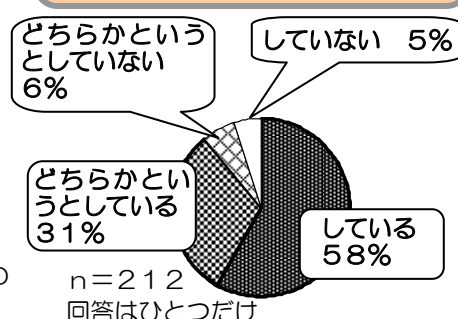
### 子どもにあいさつなど声をかけることがありますか



### 【参考】中学生アンケート

<実施時期> 平成21年9月  
 <実施対象> 区内市立中学7校の2年生のうち212人を対象

### 近所の方に挨拶していますか



## 推進のための区民アンケートを実施しました！

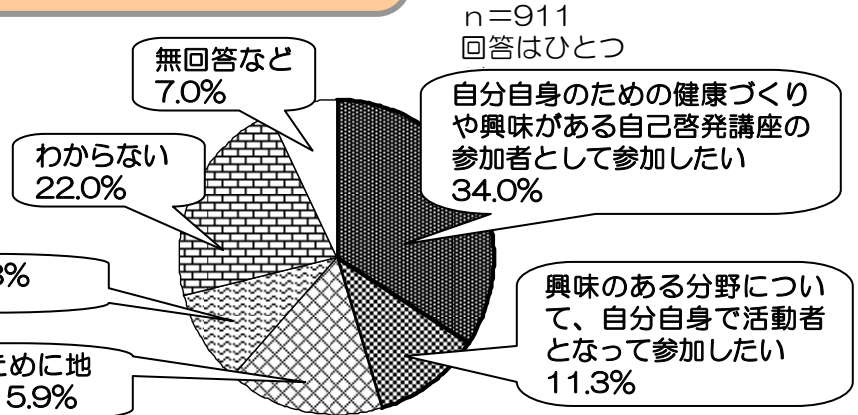
## 興味のあることからはじめてみませんか！

### 地域活動の参加についての考え方

興味のある活動について、参加者や活動者として関わりたいとの回答が上位を占めました。  
 みなさんも、自身の興味があることからはじめてみませんか！

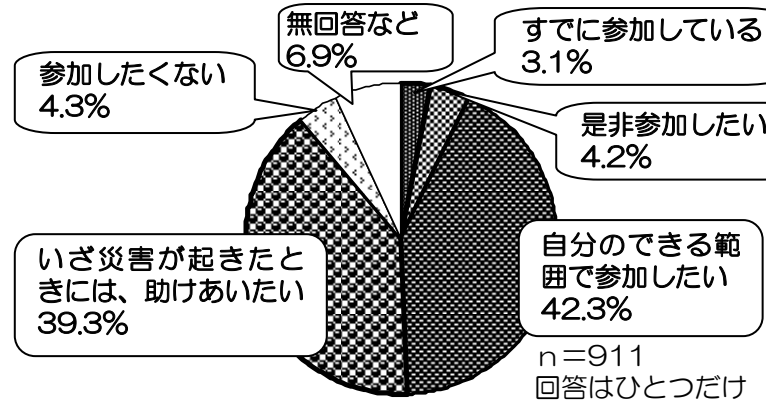
わずらわしいことにかわりたくない 9.8%

自分の住んでいる地域や困っている人のために地域活動やボランティア活動に参加したい 15.9%



## 災害時の基本は地域の助けあい！

### 災害時に高齢者や障害のある人の避難支援活動に参加したいですか？



### ～災害時要援護者避難支援の取組～

災害が発生した場合、高齢者や障害者など（災害時要援護者）が迅速に避難するためには、行政による避難支援だけでは不十分です。栄区では、自治会・町内会を中心とした地域で、災害時要援護者の安否確認や避難支援が行われることを目指しています。



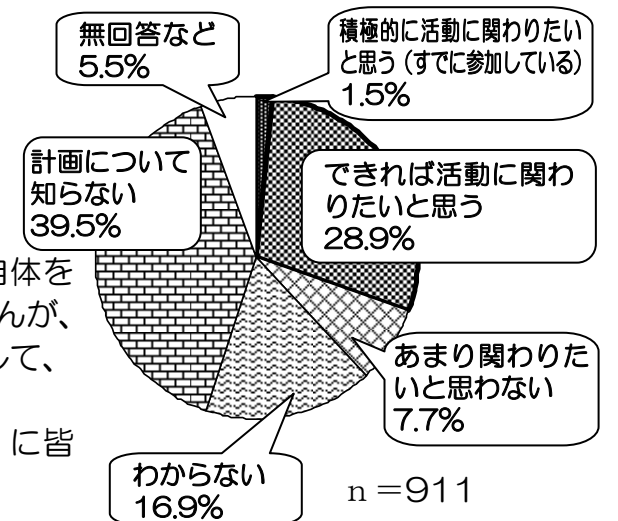
## 一人ひとりが「つながる・プラン」の主演です！

### 「さかえ・つながるプラン」への考え方について

「プラン」について、「あまり関わりたいと思わない」が7.7%に対して、「積極的に関わりたい」と「できれば活動に関わりたいと思う」をあわせた回答が30.4%と肯定的な意見を多数いただきました。しかしながら、「計画について知らない」との回答が39.5%あり、まだまだ「プラン」について知ってもらう必要性をうかがえる内容となりました。

区、区社会福祉協議会、ケアプラザがともに「プラン」自体をもっと知ってもらえるように進めていきます。区民のみなさんが、ご近所どうしの「声かけ」や興味がある地域の催しに参加して、つながりをひろげることも、「プラン」への参加になります。

区民一人ひとりが主役である「さかえ・つながるプラン」に皆さんの積極的な参画をお願いします！



## あつまれ！中学生！～夏休みボランティア体験学習～

栄区社会福祉協議会では、次世代育成の取り組みの一環として、中学生を対象に「サマーボランティアスクール～社会福祉施設体験実習～」を実施しています。

区内の福祉関係施設等の協力を得て、障害のある方や高齢者、幼児たちと交流し、また施設職員やボランティアの方々とお会いすることで、福祉やボランティア活動への理解を深めることを目的としています。

毎年、多くの中学生が、普段の学校生活では学べない貴重な経験をしています。ここで、昨年障がい者施設で実習した参加者の感想を紹介します。

今回のことを通して、やっぱり人は助けあいながら生活していくことがとても大切だと思いました。何かしらのハンディがあっても一人ではできないことがあっても、誰かが一緒に手伝ってくれる。そんなことが当たり前になる社会を目指すべきだと思います。そのためにも私はボランティア等に積極的に参加していき、誰一人不自由なく過ごせる栄区にしていきたいです。  
(Iさん・中3)

実習を通して一番驚いたのは、利用者さんとスタッフさんのやりとりです。言葉という伝達手段がないやりとりは不安でした。でも、スタッフさんは私たちとの会話と全く同じように話しかけ、利用者さんはめいっばいの笑顔で返事をしていました。たとえ言葉がなくても心で感じてしっかり応えてくれる。違いがあってもそんなことは問題ではなく、本当に大切なのは感じる心だということをおぼることができました。(Mさん・中2)

このように、体験実習を通じてたくさんのことに気づき、支えあうことや相手を尊重することの大切さ等について考えるきっかけとなっています。今年度も、以下の通り実施を予定しており、参加者にとって有意義な取り組みにしたいと考えています。

### 【日程】

- ①事前オリエンテーション:7月22日(金)10時～
- ②体験実習日:7月25日(月)～8月5日(金)のうち1～4日間
- ③反省会:8月24日(水)10時～

### 【対象】

- ①～③すべてに出席できる、栄区内に在住・在学の中中学生 60名

### 【申込み】

栄区社会福祉協議会窓口またはホームページで配布する申込書(募集要項)を、窓口持参または郵送。6月24日(金)必着。  
※詳しくは、栄区社会福祉協議会へお問い合わせください。



第2期 栄区地域福祉保健計画の冊子(本冊子、概要版、地区別計画リーフレット)は、事業企画担当(区役所新館3階304番窓口)のほか、栄区社協、区内地域ケアプラザなどで配布しています。

本冊子は区役所ホームページからもご覧いただけます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/sakae/guide/fukushi/2chifuku.html>

音声訳ボランティアの会 COSMOS の協力により、音声訳版を作成しました。栄区社協へお問い合わせください。



## ～さかえつながる通信についてのお問合せは～

栄区役所福祉保健課事業企画担当

電話：894-6962

Fax：895-1759

横浜市栄区社会福祉協議会

電話：894-8521

Fax：892-8974